



# 校長室通信

小国町立小国中学校

令和 4. 2. 25 (金) No32

文責 狭間卓史



## 「命を大切に生きる」

今週 21 日 (月)、9 年生を対象に性教育講話を実施しました。講師は熊本県助産師会の加治 美由起 助産師にお世話になりました。

本校では毎年この時期 (2 月) に各学年毎に性教育に取り組んでいますが、9 年生は卒業を目前に控えた時期でもあり、外部から講師をお招きした学習をしています。

この日の講話は「中学卒業する皆さんへ伝えたい生と性 ~心と体と未来を守るために~」という演題で、  
①生命誕生と命の大切さ ②予期せぬ妊娠予防 ③性感染症予防 ④デート DV についての学習でした。

自分と大切な人の命や性について考える時間となりました。本校生徒全員が、これからもより良き時間を重ねていくことを願うばかりです。



【 温かな時間でした 】

## 「より良き学校・社会を築く」

22 日 (火) には P T A 親子講演会を実施しました。

今回の講演会は、本県在住の曾方晴希 (そがたはるきさん) を講師としてお招きしての講話でした。

本校は「総合的な学習の時間」を中心に、「SDG s (持続可能な開発目標)」についての学習に取り組んでいますが、その学習を通じて、生徒が SDG s 目標の一つである「ジェンダー平等」に着目し、より良く生活できる学校づくりの一方法として、制服を性別に関係なくスラックスかスカートを選べる仕組 (選択制) の導入が必要ではないかとの提案がありました。そこで、制服選択制について検討すると共に、その背景となる考え方としての「多様な性」について親子で一緒に学ぶ機会を設け、誰もが笑顔で過ごせる学校や社会の実現をめざしていくという目的で計画しました。

今回は「性ってなんだろう ~違っていい、それで大丈夫~」との演題での講話でした。曾方さんはご自身が幼少期から感じてきた生きづらさと、その生きづらさを克服するためにどのような取り組みをしていらっしゃるのか、そしてどのような社会であって欲しいのかということ等について語ってくださいました。

全ての人々がより良く自分らしく生きるためには、お互いを理解し合うこと、違いを認め合えることが大切だということ等を学びました。

曾方さんは今回の講話のまとめとして、・・・「あなたは一人ではありません。居なくていい人なんていません。自らを卑下せず、自分の道を自分らしく、あなたらしく進んでいこう。あなたはあなた、自分は自分です。」という素敵な言葉でまとめてくださいました。



【 目指すのはより良き社会 】



【 感謝の思いを込めて 】



【 各々に自分の言葉で伝える 】

※校長室通信は「小国中ホームページ → 『校長室から』コーナー」でカラー版をご覧ください。